

情報のまど

※詳細につきましては、連絡先にお問い合わせください。

※囲碁・将棋ボランティア募集中※

【内容】 趣味でたしなむ程度に楽しんでいる囲碁や将棋を活かし、利用者さんとふれあう

【日時】 ご相談の上 【場所】 西区内高齢者施設等

【問い合わせ】 西区社会福祉協議会 西区ボランティア・市民活動センター
電話 025-211-1630

※平成 30 年度 ボランティア保険※

ボランティア活動中におこる事故、地域福祉活動やボランティア活動の一環として行う各種行事における様々な事故に対応する保険です。

3月1日(木) より社会福祉協議会の窓口で受付しています。

【ボランティア活動保険】

ご加入プラン		平成 30 年度	
		A プラン	B プラン
保険料	基本タイプ	350 円	510 円
	天災タイプ	500 円	710 円

○保険料は平成 29 年度と変更ありません。

○死亡保険金額・後遺障害保険金額を引き上げる改定がありました。

【ボランティア行事用保険】

○日帰り行事の A プラン(要名簿)、C プラン(名簿不要・一部制約有)は保険料・補償内容ともに平成 29 年度と変更ありません。

○宿泊を伴う行事の B プランに「熱中症」の補償を追加し、保険料を引き上げる改定がありました。

保険のご案内



社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会
西区社会福祉協議会ホームページ



社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会
西区社会福祉協議会 facebook ページ

編集後記

ぼらちゃん第 10 号の作成時は冬季オリンピック真っ只中です。望んだ結果でなかった選手は“努力不足”と自分を責め、メダルを手にした選手は“みんなのおかげ”だと感謝を示す。本当に強い人たちの言葉だと思いました。そして周囲からの支援に心から感謝していることもよく伝わってきました。“感謝できる人は助けられ上手な人”。余計なことは気にせず「先ず「ありがとう」をきちんと伝えるよう心がけていすね。(小林)

発行

新潟市西区社会福祉協議会
西区ボランティア・市民活動センター

新潟市西区寺尾東 3-14-41 健康センター棟 1 階
TEL:025-211-1630 FAX:025-211-1631

ぼらちゃん

第10号
2018.3.1発行

ボランティア講座の報告



ボランティアははじめの一歩 ～傾聴力を育てませんか？～

平成 29 年 10 月 3 日・17 日開催 @西区役所 健康センター棟・内野まちづくりセンター

講師:遠藤 道子 氏(NPO ころこネットワーク)

Contents---

- P.1～2...○【報告】ボランティア講座「ボランティアははじめの一歩 ～傾聴力を育てませんか？～」
- P.2 ...○「ボランティアについて学生さんも一生懸命考えています！」
- P.3 ...○【報告】災害ボランティアセンター設置運営研修
- P.4 ...○情報のまど* ボランティア募集しています
○平成 30 年度 ボランティア保険のお知らせ

【講師】
NPOこころネットワーク
心理カウンセラー
遠藤道子氏



↑ワークの様子
「相手を受け入れる聴き方」
「自分の感情表現の仕方」

【本講座】
10月3日、17日にNPOこころネットワーク 心理カウンセラーの遠藤道子先生をお迎えし、「傾聴」についてお話や演習の指導をしていただきました。2日間に渡り延べ43名の方にご参加いただきました。沢山のご参加ありがとうございました。



ボランティアははじめの一歩 ～傾聴力を育てませんか？～

【フォローアップ】施設見学ならびにボランティア体験
本講座に参加された方を対象に、西区内の施設にご協力いただき、施設見学とボランティア体験を行いました。

利用者さんとボランティア
共同作品の折り紙の
お花が…
とても綺麗です！



↑有明園
職員さんに案内をしていただき、施設内やボランティア活動の様子を見学中！



↑はあとふるあたご
小規模多機能ホーム坂井東
利用者が暮らす地域のことや家族のことなど、たくさんお話をしました。

ボランティアについて学生さんも一生懸命考えています！

新潟大学学生ボランティア本部「ボランち。」の講習会でボランティアやボランティアセンターについてのお話をさせていただきました。「『ボランち。』の役割って何だろう？」「うまく相談対応できなくて悩んでいる」との声を受け、持っている限りの知識や体験を伝えよう！と意気込んで伺いました。しかし、グループワークを進めていくなかで「SNSの活用」や「学部やサークル間でのつながりの活用」など学生ならではの強みを発見することができました。今の大学生というのはとても忙しいです。学業もアルバイトも一生懸命こなしています。そんな日常のなかでボランティアに関わりたいという気持ちを持った学生さんが集まっているのが「ボランち。」です。長いようであつという間の4年間。それぞれが「ボランち。」に入って良かった！と思えるよう、心に残る・自信につながるようなサポートをしたいと思います！



報告 “災害ボランティアセンター” を上手に使ってください！



平成29年8月27日(日)災害ボランティアセンター設置運営研修を行いました！
参加者は 従事者コース・のぞき見(初心者)コースに分かれ、前者はセンターの基礎や設置についての講義の後、ゼロの状態からセンターを設置する訓練をしました。さらにセンター員役とボランティア役に分かれロールプレイをし、設置したセンターがきちんと機能するのを確認しました。後者はセンターの意義や活用方法を学び、上記で設置されたセンターの様子、センター員やボランティアの動きを見学しました。
李先生のお話が丁寧で分かりやすく好評でした。初めて参加された方からは「マスコミ等名称は聞いていたが、実際に見ることでその実態を詳しく知ることができた。地域住民として応援したい！」との力強いお言葉をいただきました。
災害ボランティアセンターとは災害時“ボランティア”を窓口にして『暮らしのお手伝い』をするところです。自分の「困った」や誰かの「困った」を1人で抱え込まずに、センターにご相談ください！

① ボランティア受付 ② 活動先の決定



【講師】
NPO
にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李仁鉄氏(写真上)
事務局長 会田理恵子氏
(写真下)



↑【受付班】ボランティアの受付をします



↑【マッチング班】↓
地域住民からの依頼に対してボランティアできる人をつなげます



③ 活動 ④ 報告



←【ニーズ班】
地域住民からの“困った”の声を丁寧に聞き取ります



困りごと相談